

開化の叫び (八卷)

帝キネ時代映畫

原作並脚色者

監督者

撮影者

主演者

巽龍占
長尾史録
塚越成治
松本田三郎
第三百七十五號

紹介 此の映畫の主人公財部香之進は幕府の弱腰外
交が續に障て、親友と絶交し、敢然祿を捨て、
浪人し、勤王黨に組する硬骨の士であるが、女
にかゝると頗るこれが軟弱で、變態的で、何う
にもその氣持が曖昧で受け取れない點が多い。
二人の女に一時に戀されて、そのどちらを戀し
て行くべきかに、彼は悶々するのである、そし
て叫ぶ「俺は解らなくなつた、誰が一番正しい
のだ！」と。全く観てゐる方は尙更ら解らない
、主役の心理が斯くの如く漠然としてゐる様に、
この映畫の輪廓は絶へずボケてゐて、掴み所が
ない。後半は「唐人お吉」まがひに下手に陥つ
て、意味のない亂闘で結ぶなど、何が「開化の
叫び」さ云ひたくなるこの原作脚色者は明らか
に馬脚を露げ出した。お蔭で松本田三郎の熱演
も更に「バツ」しない。生氣のない、長尾史録の
姿。

興行價値——呼び物の資格はない。
(八月十五日 常盤座)